

《「DG メンバー」「DG サポーター」とは》

「DG メンバー」とは、バイオアナリシスに関するトピックについて議論するために集まったメンバーを指します。「DG サポーター」とは、将来 DG に参加することを目的として登録された DG メンバー候補のことです。つまり、予め DG サポーターに登録された方の中から DG メンバーが選ばれます。DG サポーターや DG メンバーは企業からの推薦ではなく個人の希望に応じて登録されるものですので、1 社何人まで等の制限はありません。その登録要件も業務経験年数等ではなく、当該トピックについて自ら議論できる意欲、経験、知識があることです。DG サポーター、DG メンバーは登録している期間中、以下に示すメリットを享受できます。

【DG サポーターのメリット】①新しい DG トピックが立ち上がるごとに優先的に情報が得られ興味あるトピックのメンバーに応募できます。②アンケートやメールでの議論に参加して DG の情報を共有することができます。

【DG メンバーのメリット】上記に加え、③DG の議論期間中にはメンバーと自由闊達に意見交換し国内外の状況把握が出来ます。④参加したメンバーしか手に入れないそのトピックの詳細な内容が手に入れます。⑤DG に参加したメンバー同士有益な人脈が構築できます。

《DG メンバーとリーダーの選出方法は》

DG リーダーは現 DG メンバーや DG サポーターの中からトピックごとに JBF DG 推進委員会が指名します。DG メンバーは参加を希望する DG サポーターから DG リーダーにより選出されます。1 トピックあたりの適切な人数は 6~10 人としていますが、10 人を超える場合でもスムーズな議論が行えるようメンバーのバランスを考慮しつつリーダーがメンバーの人数とメンバーの決定を行います。

《DG の議論の進め方は》

DG の議論は、電子メール、電話会議 (Web 会議も含む)、Face to Face といった多様な形態の中から、その DG トピックや DG メンバーの環境に適した手段を選択して行われます。過去の典型的なケースとして、まず議論テーマについて電子メールで意見を出し合い、一定期間後に Web 会議で議論し結論をまとめるというスタイルがあります。DG の議論は 6 ヶ月~1 年程度を目安にしておりその間に上記のメールのやりとりと Web 会議をいくつかの議論テーマごとに繰り返します。この他 DG メンバー相互の理解と議論の推進のために議論期間中に一度は Face to Face のミーティングを実施することも推奨されています。

《DG でデータを取るために実験を行うことはあるか》

現在のところ DG では議論を主な活動としており、実験を行うことは想定されていません。議論に必要なデータを取得するために実験を行うことは将来の選択肢として持っていますが、今後の検討課題です。

《DG では所属する会社の意見を述べるのか》

議論は個人の裁量で科学的見地から行います。年齢、所属企業 (CRO, 製薬企業, 機器メーカーの違い含む)、自社 SOP 等にこだわる必要はありません。もちろん所属企業の守秘事項に触れることはありません。

《DG の成果の公表は》

成果の公表の仕方は各 DG に任されますが、一般には毎年 2~3 月に実施する JBF のシンポジウムで経過及び成果の報告を行います。従って 2015 年度に活動する DG のメンバーの方は次回 2016 年 3 月に開催される第 7 回 JBF シンポジウム (日程, 場所は未定) にご参加いただけると幸いです。このほか学術雑誌への投稿, JBF 以外の学会での発表も視野に入れ一部活動を始めています。なお, 各 DG で議論された中で上記シンポジウム等で公表されなかった内容は, 原則的にその DG のメンバー内で共有され, 他には非公開となります。

《DG サポーターに義務はあるの》

DG サポーターは将来何らかのトピックの DG にメンバーとして参加することを前提に登録していただいています。また、アンケートやメール上での議論を呼びかけられたときに積極的に応じることも求められています。

《DG サポーターや DG メンバーを続けられなくなったときは》

人事異動、業務都合などで続けられなくなったときは DG 専用メール(jbfdg2013@gmail.com)あるいは DG 推進委員会メンバーまでご一報いただければ、DG サポーターからの登録解除の手続きをいたします。

《DG 関係の今後の予定は》

2015.2.25-26 第 6 回 JBF シンポジウムで DG 紹介とともに、DG サポーター、DG トピックを募集
2015.4 月～ 次回 DG のトピック（5 個程度を予定）を DG サポーターに案内し、メンバーを募集
2015.5 月～ 各 DG のリーダーとメンバー（6～10 人程度）を決定
2015.6 月～ 準備が整った DG から議論をスタート（議論の期間は 6 ヶ月程度。延長も可能。）
2015.12 月～ 各 DG の議論をまとめ成果報告の準備を行う
2016.3 月(予定) 第 7 回 JBF シンポジウムで議論の経過と成果を発表しシンポ参加者と情報交換
2016.4 月～ 新たな DG を立ち上げて次の議論を開始する

（ご参考）その他関連する事項の Q&A

《DG サポーター登録時の個人情報の管理は》

個人情報は JBF が厳密に管理します。第三者に断りなく公開することはありません。また登録解除した場合は責任を持って情報を削除いたします。

《DG サポーターは GBC や日本のガイドライン情報を特別に入手できますか》

今のところそのような便宜を図る予定はありません。DG 以外の情報については JBF HP をご覧になるか (<http://bioanalysisforum.jp/>), JBF 事務局にメールにてお問い合わせください(jbf.office1@gmail.com)。

《DG サポーターと HT サポーターや JBF パートナーの関係は》

HT サポーターは GBC HT メンバーの議論のサポートを目的に登録された方で、DG サポーターとは直接関係はありません。また、JBF パートナーは各企業の窓口として JBF の各種の活動にご協力をお願いしている方で DG サポーターとは別に登録されています。しかしながら、HT サポーターも JBF パートナーもバイオアナリシスの経験やそれに関する議論への興味を持っている点では共通する部分も多いと考えられ、実際 DG サポーターに登録されている方も多くいます。また、DG 活動の一環で実施するアンケートでは HT サポーターや JBF パートナーのご協力もお願いしています。

《DG サポーターと法人会員、賛助会員の関係は》

DG サポーターになっていただくために所属企業が法人会員、賛助会員である必要はありません。法人会員、賛助会員が DG サポーターを推薦する義務もありません。

JBF DG に関するお問い合わせは JBF DG 推進委員会メンバー、もしくは DG 専用メールアドレス (jbfdg2013@gmail.com) までお気軽にどうぞ。